

神戸新長田

×

ダンスボックス

×

外大



Kobe City University of Foreign Studies

神戸外大魅力発信事業2025

2025

10.6 月

16:05~17:35(5限)

横堀 ふみ

【講義】

人々や場を繋ぐ、公共の場としての アートのありか

私がプログラムを構成するときに、注視する3つの点があります。

約10年前に書いたテキストを下記に引っ張り出しましたが、現在においてもそう変わりはありません。

ダンスボックスの活動を紹介しながら、地域に根差した共生社会とアートの関係性についてお話しします。

まずは、「踊り」や「ダンス」が、その土地の文脈、例えば、気候や風土、歴史、教育、宗教、家族生活といったような事と密接に関係し合いながら生成される表現であるという視点。

また、＜日々の営みにおける一つの必然＞、＜人々／ルーツ／共同体をゆるやかに接続するもの＞、＜劇場等で見せる行為＞としての「踊り」や「ダンス」を行き来する表現であるという視点。最後に、「踊り」や「ダンス」は変容を繰り返しながら（日々の営みが綿々と紡がれ続けるように）終わりのないプロセスを重ねることに開かれた構造をもつ表現であるという視点です。

【プロフィール】

横堀 ふみ

NPO法人DANCE BOXプログラム・ディレクター
京都市立芸術大学非常勤講師、ON-PAM理事



©岩本順平

場 所 神戸市西区学園東町9丁目1 神戸市外国語大学 三木記念会館

参加費 無料 ※どなたでもご参加いただけます。

企 画 神戸市外国語大学 エグリントンみか (演劇研究・評論・翻訳 神戸市外国語大学英米学科教授)

問合先 神戸市外国語大学 研究所グループ Mail:kouen@office.kobe-cufs.ac.jp